

2020年度「人材発掘」入試・
学部3年次生特別入試枠
法学既修者認定試験

刑事訴訟法

(問題)

注意事項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、科目名を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題 (60 点)

警察官Kは、暴力団構成員のXが、覚せい剤の密売を行っているとの匿名情報を得て内偵捜査を始めたところ、暴力団構成員のYが、以前Xと付き合いがあったものの、その後仲違いして不仲になってXを強く恨んでいるとの情報を得た。そこで、Kは、令和元年7月1日、Yに対して、Xに対する覚せい剤取締法違反の捜査に協力してくれるよう依頼したところ、Yは、特に悩むこともなく、即座に、警察の捜査に協力することを承諾した。

同月2日、Yは、Xに電話を架けて、Xに対して、「久しぶりだなあ。覚せい剤を5グラム購入したいんだ。」と述べた。Xは、Yに対して、「最近、覚せい剤の販売はやっていないんだが、Yの頼みだから、仕入れて販売してやるよ。」と述べた。

同月3日、Xは、Yに電話を架けて、Yに対して、「明日午後3時、喫茶西北に来てくれ。5グラム準備できた。現金10万円を持ってきてくれ。」と述べた。

Yは、Xとのやり取りを、逐一、Kに連絡していた。

Kは、同月4日午後3時、喫茶西北に臨場し、喫茶西北に来たXに対して職務質問したところ、Xは、覚せい剤を所持していることを認めるとともに白色結晶をKに差し出した。Kは、その場で検査を実施したところ、差し出された白色結晶が覚せい剤反応を示したことから、Xを覚せい剤所持の現行犯人として逮捕した。

Kの捜査の適法性について論じなさい。

〔以下余白〕

